

名古屋キリスト教社会館

後援会だより

第 36 号

発行日；2023年1月1日

発行人；安藤 博之 編集人；谷川 修

〒457-0805 名古屋市南区三吉町 6-17

明けましておめでとうございます

コロナ第8波感染のもと、新しい年を迎えました。ウィズコロナということなのか知りませんが、マスクミでのコロナに伴う報道がほとんどといってよい程に減ってきていて、感染の怖さが薄れてきました。しかし、陽性との検査結果ができれば、長い期間隔離？状態に置かれてしまいますし、濃厚接触者ということになれば、やはり生活が制限されてしまいます。仕事を休まないといけない、その分の収入はなしとなる。

私も、年末にコロナ感染となりました。症状は大したものではありませんでした。家族感染です。もともと、どこで感染したのか分かりません。厄介この上ありません。それでも、決まった期間、人と接することを避けていれば、もとの生活に戻ることができます。

戦争状態の下では、そうはいかない。自分ではそ

の苦しい生活の終わりが見通せない。とても辛いことでしょうね。早く戦争が終わり、元のような暮らしができることを願います。

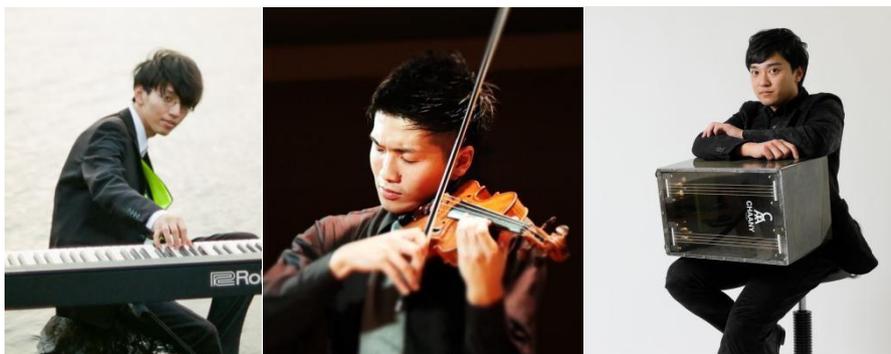
後援会会長を引き受けての1年目、何とかお役に立ちたいと思っているのですが、なかなか、そうした機会がもてません。それでも、社会館バザーでは手作りの餃子販売をし、年末にはクリスマスコンサートをやりました。支えてくれた皆さん、参加してくれた皆さんありがとうございました。餃子の味は如何でしたでしょうか！？コンサートは良かったですかあ！？

「発達センターちよだ」の建て替えという計画がはっきりとした時には、自己資金づくりをしっかりとやりたいと思っています。また、会員の皆さん、そして、いつも頑張っている職員の皆さんにとって、後援会が良いことをしてくれる、頼りになる、そう思ってもらえるような活動をしていく一年にしたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。会長 安藤 博之

何という素晴らしい演奏、パフォーマンス ライブならではの満足感、ありがとう。

Love know (愛知) クリスマスコンサート

12月20日夜、バイオリン奏者の福田勝太さん、ピアニスト小田智之さん、パーカッション鈴木豊大さんによるクリスマスコンサートは、コロナ感染の心配をしながら、対面とオンラインで開催、素晴らしい演奏に参加者一同酔いしれました。福田さんは、プロのミュージシャンです。コロナで演奏の機会が極端に減ってしまい、運転代行業で勤務することになり、活動センターねーぶるの送迎を担当、今回、演奏をお願いすることができました。「感動した、何度でも聞きたい。」との感想が数多く寄せられました。



2022年12月20日現在

会員数810名

当面の目標である1000名を早期に達成できるよう、お知り合い等への呼びかけを今後も宜しくお願い致します。(事務局)

—編集後記—

皆さん、お正月はゆっくりできたでしょうか。お出かけしたり、普段合わない人と久しぶりに会ったりとちょっぴり楽しいひと時を過ごされたことと思います。

今年こそ、元のような交わりある生活を取り戻したい。世界中の人々にとって、平和で安定した暮らしが実現する、せめてそんな夢を抱いて、今日一日を過ごしたい。(O.T)